

社会福祉法人童里夢 令和7年度の法人運営について（みなさんと一緒にめざすもの）

昨年度、法人運営に対して実施指導、また各事業所（地域生活支援センターすたあとを除く）の運営指導を受け、事業運営の基本を確認し指摘・指導に対しては点検、改善をすすめている。

最重点課題として、将来の法人像を明確にして中期的な視点で事業の組み立て運営、職場（組織・人）の基盤づくりを今年度から2年間かけてすすめる。

- ・ 日中活動の場所（ニーズに応える活動種目） 安心して働く、楽しむ、健康を維持する
- ・ 暮らしの場所 安心して暮らす（生活基盤となるグループホーム）
- ・ 地域生活・余暇活動支援 レスパイト、外出支援、通院支援、宿泊体験、家庭内支援、相談支援

1. より良い職場づくり、選ばれる職場づくりへの取り組み

事業運営の根幹を職場づくりと位置づけ、法人理念を基軸として今後の事業の安定継続、発展のため、あらためて事業運営管理の最適化に向けた取り組みと共に、処遇改善や勤務形態の見直し、休暇取得環境の構築等にも注力する。

労務管理 規定類の見直し・改訂 ケアズコネクト（勤怠管理ソフト）の運用

有給休暇の取得、残業時間の管理、他・・・『働き方改革関連法』

業務管理 業務の平準化・最適化 手順書、マニュアル等の整備・改訂 属人化の防止

デジタルツール（チームズ、Zoom、他）の活用

職務・職責の明確化と評価

予算管理、及び適切な執行 ※収支バランス（障害福祉サービス・就労支援会計収支）

2. 人材確保（新規採用／定着）・人材育成への取り組み

取り組みを通して職員一人ひとりが職務・職責について自覚を持ち『我がこと』としてお互いを尊重し前向きな議論を通して、事業運営に参画することを獲得目標とする。

計画的な階層研修 中間管理職（NextLeader／LowerManager）の育成

OJT・Off-JT・SDS等の仕組みの充実 スーパービジョン体制の構築

計画的な人材採用 ※人材情報サイトの活用

3. 地域貢献、地域に開かれた事業運営への取り組み

社会福祉法人は公益法人として様々な優遇措置を受けており、情報開示（透明性）、情報発信と共に、「社会と地域に貢献する役割」が強く求められていることへ積極的に責務を果たす。

地域における公益的な取り組み 地域行事等への協力・参加

情報発信（機関紙、SNS：ブログ、HP、YouTube、他）※『童里夢らしさ』（特徴）を発信

4. 3年後の法人運営、各事業運営の姿を描き必要な準備のための取り組み

社会情勢の変化への対応、事業の安定、及び発展のために新たな運営体制に向けて引継ぎの準備、また事業所間の連携・協力体制の構築、新規事業展開へ対応するため人的交流の推進、及び段階的に人事異動をすすめる。（評価・検証する）

事業運営課題の整理、及び改善、また地域生活支援体制の拡充、新規事業の検討を企画会議で議論を深め準備をすすめる。

《 童里夢の基本方針 》 ※法人の全ての活動、運営・組織の在り方

『共に汗し、共に笑い、共に語ろう！』

- 「社会に存在する何人とも認め合い、助け合い、許し合い、共に生きていきます」
- 「地域社会とのつながりを大切にして、地域共同ネットワークづくりのために努力します」
- 「障害者一人ひとりが、主体的な人生を送るために自律の支援を追求します」
- 「障害者の社会参加に必要な情報を収集し、障害者理解に必要な情報を発信します」
- 「障害者に必要なサービスを継続的に提供できるように、時代に合わせて変化し続けます」